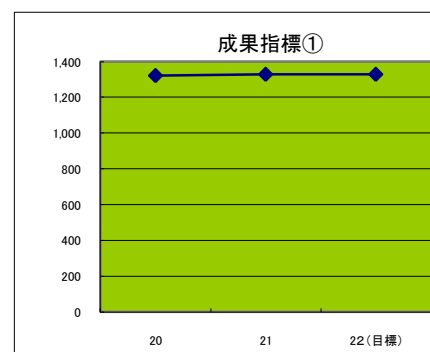
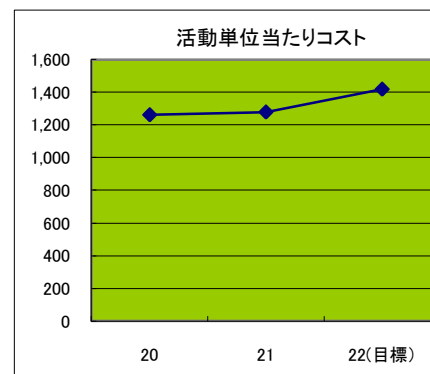


事務事業名			水道メータ管理事業		会計	水道事業	
					款	事業費	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	1	安全・安心、快適で住みやすいまち		項	営業費用	
	施策(節)	11	上下水道		目	業務費	
	施策の方向	(1)	良好で安全な水の供給		事業	メータ取替	
関連する計画等					作成部署	水道局総務課	
事業の目的	対象(誰を・何を)				連絡先	072 - 958 - 1111 内線 5020	
	給水対象となる給水契約者						
	意図(どういう状態にしたいのか)						
事業の内容	正確な使用水量の調定を行なうため						
	適正な計量を確保するため、水道メータを計量法で定められた期間内に定期的に取り替を実施する。						
根拠法令等			計量法 水道法 羽曳野市水道事業給水条例				
事業開始時期			☒ 昭和 38 年開始 ☐ 平成 ☐ 明確にはわからない ☐ 市制施行(昭和34年)以前より行っている		終了年度	平成 年度	
事業開始時からの状況変化			改正水道法により、平成16年度から鉛レスメータに切り替えている。				
市民や議会の要望							
実施手法			☐ 直営 ☐ 一部委託 ☒ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()				
委託先			☐ 市外郭団体委託 名称() ☒ 民間委託 ☐ その他		委託内容	検定満期・故障メータの取替及び撤去業務	

区 分		20年度	21年度	22年度
		(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)		6,575	7,744	11,490
人件費【2】 (千円)		0	0	0
職員数	正規職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		6,575	7,744	11,490
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他 (手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	6,575	7,744	11,490
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		20年度	21年度	22年度(目標)
①	量水器取替件数 件	5,208	6,053	8,103
②				
③				
活動単位当たりコスト (【A】 / 【B】 ①)		1,262 円	1,279 円	1,418 円
市民1人当たりコスト (【A】 / 人口)		55 円	65 円	97 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		単位	指標設定の考え方	平成20年度		平成21年度		平成22年度
	①	職員一人当たりメータ数	(個/人)	職員に関する事業の効率性を表している。	目標	1,277	1,321	達成率(%)	1,328
		(式) メータ設置数÷職員数			実績	1,321	1,328	100.5%	
	②	有収率	(%)	施設の稼動状況が、どの程度収益につながっているかを示す。	目標	95.0	95.0	達成率(%)	95.0
		(式) 年間総有収水量÷年間総配水量×100			実績	94.9	94.1	99.1%	

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	法令に基づく取替の必要性
	○			○							

視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
妥当性	市民ニーズが高い	☒	☐	☐	適正なメータ交換は正確な使用水量を把握するうえにおいて必要不可欠であり、改正水道法に基づく水道水への鉛浸出基準をクリアした鉛レスメータを検定満期までに行なう。
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	☒	☐	☐	
	社会情勢の変化に対応している	☒	☐	☐	
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
	国・府の事業と重複していない	☒	☐	☐	
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
	緊急性が認められる	☒	☐	☐	
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	☒	☐	☐	民間委託により、年度計画表に基づいた業務処理を効率的かつ臨機応変に対応することによって、経費削減を図っている。
	受益者負担の割合は適当である	☐	☐	☒	
	人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
	事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
	簡略化できる方法や手段がない	☒	☐	☐	
	市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	☒	☐	☐	
有効性	上位の施策(目的)が明確である	☒	☐	☐	市民への水道に対する安心感及び環境に配慮した事業であり、市民の視点に立ったサービスを提供している。
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	☒	☐	☐	
	成果を向上させる余地がない	☒	☐	☐	
	市民の視点にたってサービスが提供されている	☒	☐	☐	
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	☐	☐	☒	水道職員を装った悪質な訪問業者が横行しているので、取替先への事前通知を徹底している。
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	☒	☐	☐	
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	☐	☐	☒	
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☐	☐	☒	
達成度	成果指標の目標値は適正である	☒	☐	☐	鉛レスメータへの切り替えは平成21年度に完了している。
	成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	
	成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	

担当 部局 評価	総合評価
	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了
	評価の理由
	使用水量を正確に把握することにより、料金請求時の未納・滞納等のトラブルの未然防止につながる。
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)
	鉛レスメータへの切り替えは平成21年度に全て完了したが、今後も検定満期までに計画的かつ効率的にメータの取替を行なう。

行 事 本 部 評 価	総合評価	評価理由・意見
	☒ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	